

## 2012年度 日本文化人類学会 第6回 理事会 議事録

日時：2013年2月17日（日）14:00～17:30

会場：東京外国語大学本郷サテライト 7階会議室

出席者：小泉、赤堀、綾部、池田、春日、亀井、棚橋、出口、三尾、山本、和崎

委任状提出：上杉、小田、岸上、窪田、栗本、佐々木、清水、曾我、高倉、中谷、松田、森山

### 〔承認事項〕

1. 2012年度第5回理事会議事録
2. 新入会員（4名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

### 〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・学会50周年記念事業およびIUAES2014中間会議について、日本人類学会へ協力要請を行ったこと、それに対し松浦秀治会長からご協力いただけるとの連絡があったことを報告。
  - ・日本文化人類学会50周年記念国際研究大会について、IUAESとEASA（ヨーロッパ社会人類学会）へプロポーザルを送ったことを報告。
  - ・国立新美術館での国立民族学博物館収蔵資料の企画展示について、仮テーマ（「イメージの力」）と会期（2014年2月13日～5月19日）が設定されたことを報告。5月15日～5月18日の学会50周年記念国際研究大会の会期を考慮して、2回程度の記念シンポジウム開催を検討していることを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・日本学術会議「東日本大震災に関わる活動調査アンケート」に回答したことを報告。関連して、今期、東日本大震災に関わる学会としての活動について提案があれば棚橋理事へ連絡することとした。
  - ・関東地区研究懇談会の石田慎一郎幹事より修士論文・博士論文発表会準備のために関東地区会員メールアドレスの提供要請があり、個人情報管理を徹底のうえ今回の用途にのみ用いることを条件に提供を行ったことを報告。
3. 会計理事報告
  - ・公益信託澁澤民族学振興基金の平成25年度民族学振興プロジェクト助成（団体）に「日本文化人類学会50周年記念事業」を応募した結果、助成が決定したことを報告。助成金額は70万円。
4. 総務理事報告
  - ・人類学関連学会協議会2013年度合同シンポジウム「人類の姿勢とロコモーション様式の特徴」（2013年6月8日、於金沢、幹事学会：日本生理人類学会）に野村雅一会員の派遣が決定したことを報告。
5. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき8件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
  - ・研究大会演題登録システム（PASREG）の契約期間が満了したことを報告。今後は担当校の作業状況に応じて1ヶ月程度の契約延長を認めることを報告。
  - ・学会HPについてノンフレーム版を作成中であることを報告。
  - ・学会HP内の学会誌データベース更新が滞っていたため、現在更新作業を行っていることを報告。
  - ・課題研究懇談会のサイトで活動報告が充分になされていない状況を報告。事業成果を会員に還元するための対応について担当理事に検討を促すこととした。
6. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：77巻3号が予定より1ヶ月遅れて刊行されたこと、77巻4号の進捗状況について報告。また、特集論文についてプレ査読の導入を検討中であることを報告。投稿呼びかけについても引き続き要請を行った。
  - ・国際連携委員会：小泉会長より、IUAESの最近の動向に関して報告があり、特に定款の改正が投票により行われたこと等について説明がなされた。
  - ・課題研究懇談会担当委員会：課題研究懇談会の研究大会における発表機会について委員会で検討中であることを報告。
  - ・学会歴史委員会：インタビュー映像記録について国立民族学博物館における一般公開を目指していること、現在、映像記録に関わる方々に映像とスクリプトの公開許諾依頼中であることを報告。
  - ・学会50周年記念事業検討委員会：小泉会長よりIUAESへ2014年中間会議を日本で開催することにつ

いてプロポーザルを送ったこと、EASA へ支援に関する依頼状を送付したこと、AAA (アメリカ人類学会) のCWA (世界人類学委員会) から学会 50 周年記念国際研究大会について情報提供依頼があり対応したこと等、前回理事会以降の状況を報告。

- ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：第 47 回研究大会の査読結果について報告。また、今後、日本語以外の言語で書かれた要旨への対応について検討が必要であることを報告。
- ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
- ・倫理委員会：近日中に委員会を開催予定であることを報告。
- ・学会賞選考委員会：学会賞選考委員会を 1 月 21 日に開催し、学会賞受賞候補者の推薦案を決定したこと、その際、投票数の低さが問題とされたことを報告。今後の対応策として「該当者なし」を得票に数える、または学会賞を隔年にする等の意見が出たことを報告。本件については委員会で引き続き検討し今後の理事会で審議することとした。

### 【審議事項】

1. 日本文化人類学会より WCAA への年会費の自発的寄付について
  - ・三尾理事より、WCAA から財政基盤の強化という観点から毎年自発的な寄付が期待されており、今年度も依頼状が届いていることについて説明があった。本件に関し、今年度は学会の予備費より 500US ドルの寄付を行い、次年度以降は WCAA 関連費からの支出とするとの提案があり、審議の結果、承認された。なお、寄付金額については状況に応じ毎回検討を行うこととした。
2. 学会 50 周年記念事業について
  - ・小泉会長より、学会 50 周年記念事業検討委員会の検討を経た次の事項について提案があり、審議の結果、承認された。
    - ①日程案 (2014 年) :
      - 5 月 14 日 レセプション
      - 5 月 15 日－5 月 18 日 学会 50 周年記念国際研究大会・IUAES2014 中間会議
      - 5 月 17 日－5 月 18 日 第 48 回研究大会、  
(参考案：5 月 17 日 合同バンケット)  
(参考案：5 月 19 日 観光等プログラム)
    - ②担当校：第 48 回研究大会も従来と同様、担当校を設定することとし、正式に依頼交渉を進める。
    - ③実施体制：
      - (1) 委員長の下に総務理事と学会 50 周年記念事業担当理事の 2 名を副委員長として置き、学会 50 周年記念事業担当理事の具体的人選については委員長と総務理事に一任する。
      - (2) 「広報・情報」、「プログラム編成」、「会計・資金獲得・助成申請」に関わる業務の担当として 1 名以上の会長補佐あるいは理事補佐を置き、具体的人選と配置については委員長と副委員長に一任する。
  - ・学会 50 周年記念国際研究大会のホームページ作成、ロゴ作成、募集事務、登録システムの運営・管理は外部委託できる可能性があることが報告された。
3. その他
  - ・赤堀理事より、「国立情報学研究所電子図書館に係る申合せ」について、現行では、学会員は学会誌掲載論文の閲覧無料、非会員は論文 1 本につき 300 円の設定になっているが、これを非会員は論文 1 本につき 200 円に変更し、機関定額制としてはどうかとの提案があった。審議の結果、提案に基づき申し合わせの改訂手続きを行うことが承認された。
  - ・学会誌掲載論文について機関リポジトリで公開する際に、現行は「『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準」に基づき査読後最終稿の掲載を認めているが、今後、版面の公開を認めるかどうかについて意見交換がなされた。
  - ・各課題研究懇談会へ 2012 年度会計報告及び事業報告の提出締切についてメールで通知を行うこと、送信文については委員会で作成することとした。
  - ・2012 年度事業報告・2013 年度事業計画案について、各担当理事は 3 月 7 日までに事務局と棚橋理事へ原案をメールで送信することとした。また、2012 年度の支出状況と 2013 年度の予算要求について、各担当理事は 3 月 7 日までに事務局か三尾理事まで連絡することとした。
  - ・次回理事会は 2013 年 3 月 17 日 (日) 14:00～開催予定。

以上